



くまの子倶楽部三室保育園本館
令和7年8月5日発行
園長 山口幸子

待ちに待った梅雨も明け子どもたちもですが大人たちも嬉しい夏がやってきましたね。

さて今回は、くまの子で過ごす子どもたちの育ちについて話そうかと思います。

先日、ある大学の教授を園に招き、くまの子の保育を見てもらいその様子について、カンファレンスを行いました。

『豊かな自然とくまの子で働く素敵な職員の方たち。自分のしたいことが叶い、満たされると、保育園の居心地が良くなるんですね。』と素敵な言葉をいただきました。

この園は思う存分『自己』を発揮し、のびやかに生活していけるように本当の意味での『子どもを中心』とした保育を現在保育士と叶えている最中ですが、そのように外部の人に見てもらえることは嬉しい事でした。

先日、林の中にもぐらが土の中を走ったであろう土の盛り上がった場所がたくさんありました。A「あれは何だろうね」B「もぐらが通った道なんだって！」A「えっ！じゃあ、掘ったらもぐらがいるのかな？」と話している年中さんの子達がいました。山口「じゃあ、見に行ってみようか！」と声を掛けるとB「え!?いいの？」A「行く！」と返ってきたので急遽行くことに！私がドアの力ギを用意している間に、子ども達は大きなシャベルに小さなスコップ、バケツとざるを持っている子も♪なんて、バケツとざるを持っているか・・・もちろん！捕まえるためですよ♪

用意をしていると何をやるのか聞きつけて、人数がどんどん増えていき10数人になっていました。林に到着すると思いきい走っていく子どもたち。次々と掘っていきますが、空洞になってトンネルになっているわけでもなく、もぐらも見つからず・・・でも、ももこしている土を踏んでみるとふかふかしていたので、次の遊びは踏んでみることに♪全て踏み終わり、「もぐらいなかったね〜」「捕まえたかったな〜」と話をしていたのですが、とっても満足したようで、友達ともぐらや土の感触について話しながら園庭に戻りました。

その後、残念ながらもぐらについて詳しく載っている図鑑などはなかったので、その後の発展はなかったのですが、たくさんの実体験による学びが生まれたようです。

常にトライ&エラーが出来る環境が用意されてるということ。それは単なる失敗をたくさんすることではなく、そこから様々な事を学んだり、多方面から見る力が養われたり、安心して次のチャレンジが出来るように自然となります。今回の話もそういった満たされながらたくさん体験をしていく。その中で今後に繋がる学びを得る。だからこそ、やりたいこと=学びたいことが躊躇なく出来るようになり、やがていろいろなことを学び社会へはばたくところでしょうか。さて、森に咲いているヒマワリが気持ちよさそうに風に揺られていますね。ヒマワリはポジティブな花言葉がたくさんあるのですが、子どもたちもヒマワリのように常にポジティブなことを考え、前を常に向き、ぐんぐんと育ってほしいと思います。子どもたちにとってはお楽しみの行事が多いこの季節、セミの大合唱に負けにくいぐらいの溢れるパワーで、みんなで暑い夏を元気に楽しく過ごしたいですね。



- ・6日(水) 食育活動(乳児)
- ・13日(水) 避難訓練(火災)
- ・20日(火) 食育活動(幼児)
- ・22日(金) こあら組特別食育
- ・29日(金) すいかわり
- ・26日(火)～27日(水) 夏祭り
- ・25日(月)～29日(金) 発育測定
- ・25日(月) 8月生まれの誕生会



今月のうた

☆乳児☆

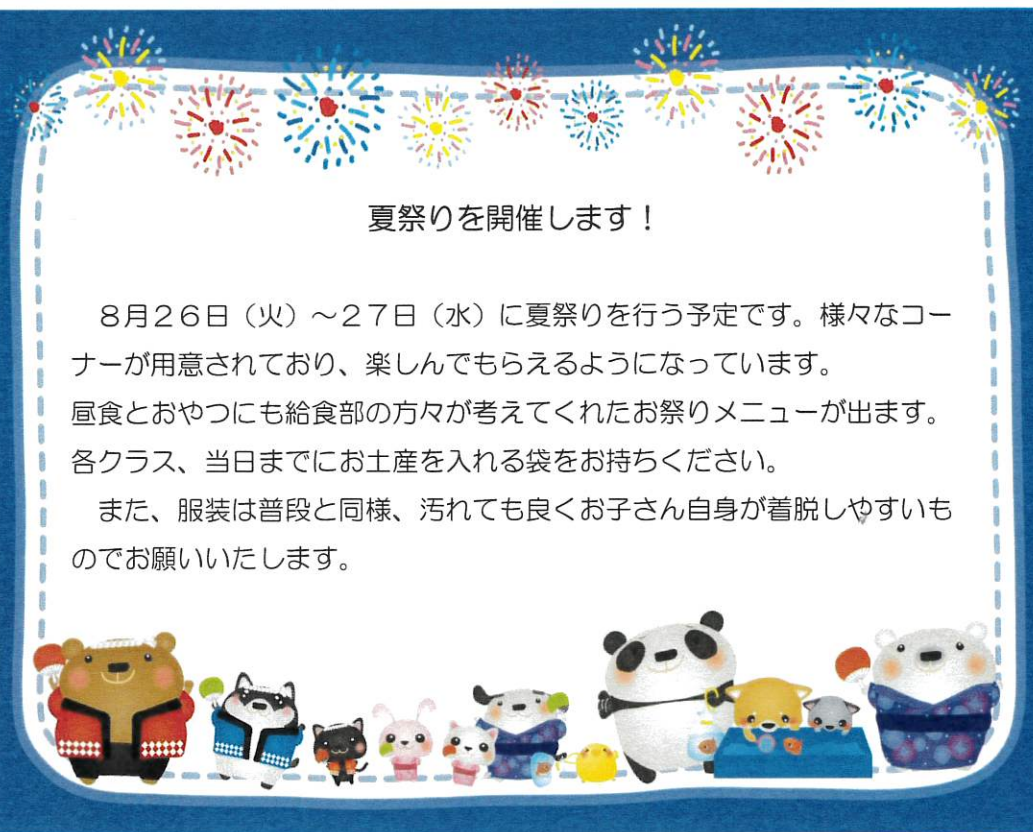
♪うみ♪おばけなんてないさ
♪トマト♪アイアイ

☆幼児☆

♪おばけなんてないさ♪アイスクリームの歌
♪人間ていいな♪じゃくじゃくあまのじゃく

☆English☆

♪Itsy bitsy spider
♪London bridge falling down



夏祭りを開催します！

8月26日(火)～27日(水)に夏祭りを行う予定です。様々なコーナーが用意されており、楽しんでもらえるようになっています。

昼食とおやつにも給食部の方々が考えてくれたお祭りメニューが出ます。各クラス、当日までにお土産を入れる袋をお持ちください。

また、服装は普段と同様、汚れても良くお子さん自身が着脱しやすいものでお願いいたします。



園での服装について

基本的に動きやすく、体温調節のしやすい通気性、吸水性のある服装でお願いしています。また、どろんこ遊びや絵の具を使ったダイナミックな遊びも取り入れているため汚れを気にせず遊ぶことができ、長いひもや飾りのついていないもの、フードのついていない洋服が望ましいです。また、園庭、森や林に行く際は虫やケガの対策として長袖・長ズボンをお願いしています。ご協力をお願いいたします。



くまのこり クラスだょり



くまの子俱樂部三室保育園本館 令和 7年 8月 4日発行



0歳児 ひよこ組

7月は欠席や体調不良の子が多く、水遊びはなかなか実施できませんでしたが、体調に合わせて運動遊びをしたり、沐浴をして過ごしました。友達を少しずつ意識し始めていた子ども達でしたが、顔を見合わせて笑い合ったり、クラス全体で友達の存在を認識して関わり合う姿がより盛んに見られるようになりました。職員の体を使って伝い歩きをし、いないいないばあをする場面も見られ、可愛らしい様子について笑みがこぼれています。一日の園生活の流れや、睡眠の時間も安定してきました。暑さのため外遊びにはなかなか出れないことも多いですが、短時間だけ外気浴の時間を作ると、保育室に戻る時は晴れ晴れとした表情です。今月もたっぷり水分補給や休息を取りながら、暑い夏を健康に過ごしていきたいと思います。



1歳児 りす組

本格的に始まった水遊びでは、全身びしょになりながら楽しんでます。水遊び開始頃は遠目で見ていた子達も、楽しい雰囲気を感じながら少しずつ水遊びに慣れてきました。ダイアン先生とのEnglish-timeでは、「Hello」と手を振ったり、ABCソングを手を叩きながら一生懸命歌う姿が見られ、その時間が大好きな様子が伝わってきます。給食やおやつをテーブルに並べるとすぐに美味しそうに頬張っていましたが、皆で一緒にいただきますができるようになってきました。食具を使って上手に食べられるようになり、「上手だね」と声を掛けられると、とても嬉しそうです。玩具や場所の取り合いで友達への気持ちの伝え方が難しい場面が増えてきましたが、相手に「嫌だよ」と言葉やその子なりの表現方法で伝えられるように見守っています。8月も暑さに負けず、元気いっぱい過ごしていきたいと思います。



2歳児 きりん組

先月は初めてハサミを使って、細長く切った画用紙を1回切りしました。「こう？」と職員に使い方を確認しながら、どの子も集中して取り組んでいましたよ。初めは上手に切れなかった子ども達も何度もチャレンジし、切れるようになると「切れたよ！」と嬉しそうに見せてくれました。今後も安全に気をつけながら、ハサミを使っていきたいと思います。また、7月から始まった水遊びでは、職員や友達と水鉄砲で掛け合う子、シャワーの下に行き全身びしょ濡れになる子、バケツに水を入れ離れた場所でじっくり遊ぶ子と、それぞれの楽しみ方で夏ならではの遊びを満喫しています。今月も熱中症や感染症に気をつけ、しっかりと休息を取りながら、全身で夏を楽しみたいと思います。



3歳児 ぱんだ組

水遊びが本格的に始まりました。初めは控えめに遊ぶ子もいましたが、日を重ねるごとに積極的に参加する姿が見られるようになっていきます。職員に水をかけると「ニヤッ」と笑って逃げたり、子ども達同士で水を掛け合い、「やったなー」とびしょ濡れになって楽しんでます。水遊びの後のシャワーでは、着ている服がなかなか脱げなかったり、脱いだ服が床に落ちていることもありましたが、段々と濡れた服の脱ぎ方を覚え一人で脱げるようになってきたり、脱いだ服は袋にしまうなどやり方を覚え、一人でできるようになってきました。暑さが厳しい日もありますが、夏ならではの遊びを職員も一緒に満喫しながら、熱中症や感染症に気をつけて過ごしていきたいと思います。



4歳児 うさぎ組

7月から水遊びが始まりました。毎回20分程の限られた時間ですが、全力で楽しんでます。水鉄砲で水を掛け合ったり、的当てをしたり、空に向けて水鉄砲を打ち、「雨だ」と言って喜んだり、全身びしょ濡れになって遊んでいます。たらいを出すところ回る玩具や動物の可愛い水鉄砲、ペットボトルの玩具などで水の感触を楽しみながら遊んでいる姿もあります。あまりの暑さに月の後半は室内遊びが主になってしまいましたが、粘土遊びでじっくりと手先を使いながら遊んだり、ボールを出す投げ取るを友達同士でやってみたり、「当たっちゃだめよゲーム」で集団遊びを楽しんだり、新しいことにも挑戦しています。ルールをレベルアップさせていき、ゆくゆくは園庭でドッチボールがしたいと考えています。



5歳児 こあら組

待ちに待った水遊びでは15～20分と短い時間ではありますが、保育者や友達と水を掛け合って思い切り楽しんでいます。たらいの冷たい水を触って静かに涼みながら遊ぶ姿も見られますよ。暑さが厳しい日には室内でカードめくりやフルーツバスケット、転がしドッチボールなど集団遊びをしています。初めての集団遊びに興味津々で、ルールを理解すると「こうだね。」と友達同士で確認していました。最初は負けた悔しさから、勝って喜んでいるチームに対して「うるさい」「ずるい」と文句を言う場面もありましたが、最近は勝ったチームに拍手を送ったり、「次は勝つぞ」「負けないぞ」と感情も育ってきて、成長を感じています。これからも集団遊びを取り入れながら、みんなで遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきたいです。